

授業科目 治療学演習II

【担当教員】		対象学年	3	対象学科	理学
押 木 利英子、高 橋 明 美 田 中 健		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30 (20)
【概要・一般目標：GIO】 脳卒中片麻痺患者の障害像を実技を通して理解する 脳卒中片麻痺患者の評価および治療技術を学ぶ					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 臥位姿勢の評価と分析を理解し治療技術を習得する 2. 寝返り動作・起き上がり動作の評価と分析を理解し治療技術を習得する 3. 座位姿勢の評価と分析を理解し治療技術を習得する 4. 立ち上がりの動作の評価と分析を理解し治療技術を習得する 5. 立位姿勢の評価とぶんせきを理解し治療技術を習得する 6. 異常歩行パターンの評価と分析を理解し治療技術を習得する 7. 応用動作（ADL）・上肢機能に対する治療技術を習得する 8. 症例に対する治療の立案ができる					
回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	臥位姿勢の評価（観察）と分析、治療実習	1	講義、実技演習、担当：押木 利英子	他	
2	寝返り・起き上がり動作の評価（観察）と分析、治療実習	2	講義、実技演習、担当：押木 利英子	他	
3	座位姿勢の評価（観察）と分析、治療実習	3	講義、実技演習、担当：押木 利英子	他	
4	立ち上がり動作の評価（観察）と分析、治療実習	4	講義、実技演習、担当：押木 利英子	他	
5	立位姿勢の評価（観察）と分析、治療実習	5	講義、実技演習、担当：押木 利英子	他	
6	異常歩行パターンの評価（観察）と分析、治療実習	6	講義、実技演習、担当：押木 利英子	他	
7	応用動作（ADL）・上肢機能の評価（観察）と分析、治療実習	7	講義、実技演習、担当：押木 利英子	他	
8	症例検討（１）	8	講義、実技演習、担当：押木 利英子	他	
9	症例検討（２）	8	講義、実技演習、担当：押木 利英子	他	
10	症例検討（３）	8	講義、実技演習、担当：押木 利英子	他	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		ステップ トゥ フォロー	P. デービス	シュブリンガー・フィラー東京KK	5,040円
		脳卒中最前線第3版	藤田勉 他	医歯薬出版	8,640円
参考書		標準理学療法学／運動療法学総論 標準理学療法学／運動療法学各論 標準理学療法学／臨床実習とケーススタディ			
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席、授業態度、期末テスト、その他		50名体制で授業を構成する 実習は主体的に参加する 動きやすい服装で参加する			